



昭和中だより

ハートフル昭和

<http://www.city.akishima.ed.jp/~showa/>



令和 7 年 6 月 30 日

第 4 号

昭島市立昭和中学校
校長 渡部 尚

平和的な解決

先日、久しぶりに心が動かされる瞬間がありました。それは、大谷翔平選手の試合中の振る舞いを見てのことです。

6 月 17 日（火）からの 4 日間、大谷選手が所属するドジャースと、ライバル球団であるパドレスが 4 連戦のシリーズを行いました。このシリーズは、初戦に起こった死球（投手が打者にボールをぶつけてしまうこと）を皮切りに、両チームの選手に報復とともられる死球が繰り返される大荒れの試合が続いていて、大谷選手も 2 戦目に死球を受けていました。こうした報復合戦は、いまだにメジャーリーグに「やられたらやり返す」という暗黙の風習が残っているからと言われています。死球は、当たり所が悪ければ大ケガにつながり、戦線離脱を余儀なくされることになります。そのため、このシリーズでも、両チームは死球が起こるたびに激しく言い争い、さらには乱闘寸前のもみ合いも起こって監督や選手が退場処分にもなっていました。

そんな物々しい雰囲気でも迎えた 4 戦目。最終回に、大谷選手がシリーズ最後の打席に立ちました。前の回にパドレスの中心選手が死球を受けていたため、球場全体が「報復されるのでは・・・」と不穏な空気に包まれていましたが、その不安が的中し、相手投手が投げた 160 キロの剛速球が大谷選手の右肩に直撃しました。大谷選手は肩を押さえて苦悶の表情でうずくまりました。直後、ドジャースのベンチからは、「やりやがったな！」とばかりに何人もの選手が飛び出そうとしましたが、大谷選手は痛みに耐えながら、即座に「出てくるな！」と合図を送り、乱闘になるのを制止し、一人で相手チームのベンチに向かってゆっくりと歩きだしました。一瞬、球場全体に緊張が走りましたが、なんと彼は笑顔でした。また、両手を後ろに組んでいて、「僕は手を出さないよ」という意思を表していたため、相手の選手たちは呆気にとられ、なんだか気まずそうにしている選手もいました。後に知ったのですが、その時、大谷選手は「僕は大丈夫だよ。もうこれで終わりにしようよ。」ということを話したそうです。



大谷選手は、肘のケガから投手復帰を果たしたばかりでした。そんな状況で、利き腕側の右肩に剛速球をぶつけられたのです。怒って当然の中、彼が即座に選択したのは、「平和的な解決」でした。

今、世界では戦争や紛争が起こっています。誰が見ても悲しく、あってはならないことなのに、なかなか終わりが見えません。今回の大谷選手の崇高な振る舞いは、争いを断ち切り、平和に向けた人としての心の持ちようを示してくれた気がします。「大谷選手は人間的にも超一流。彼から学び、日々の行動に活かさなければ・・・。」そんなことを強く感じた瞬間でした。

【6 / 23（月）朝礼講話より】

★第1回学校運営協議会が行われました。

令和7年度からスタートした「学校運営協議会（コミュニティスクール）」の、第1回目が6月18日（木）に開催されました。協議会の委員には、この地域にお住まいの方々を中心に、様々な分野でご活躍されている方にお引き受けいただきました。

より地域とともに歩む学校づくりに向け、様々なご意見を反映させてまいります。



7月 行事予定

日	曜	学校行事	日	曜	学校行事
1	火		17	木	学年集会 大掃除
2	水	職員会議	18	金	終業式
3	木	避難訓練	19	土	
4	金	球技大会（1組）	20	日	
5	土	進路説明会・修学旅行保護者説明会（3年）	21	月	海の日
6	日		22	火	夏季休業日（始） 三者面談（始）
7	月		23	水	
8	火		24	木	
9	水	原爆体験伝承講話⑤	25	金	
10	木	助産師さんによる講演（2年）⑤⑥	26	土	
11	金	夢への挑戦講演会⑤⑥	27	日	
12	土		28	月	三者面談（終）
13	日		29	火	
14	月		30	水	
15	火	生徒会企画行事⑥	31	木	
16	水				

- 7月9日（水）～11日（金）は、講演会ウィークです。保護者の皆様も参観可能なので、ぜひお越しください。

9日（水） 原爆体験伝承講話

伝承活動をされている沢村 智恵子さんにお越しいただき、戦争・原爆の怖さと平和への願いについてお話を伺います。

10日（木） 助産師さんによる講演

昭島市の「めぶき助産院」から、近藤 智子助産師にお越しいただき、大人へと成長する今の自分と向き合うための知識と心掛けることを学びます。

11日（金） 夢への挑戦講演会

サッカープロフェッショナルレフェリーの荒木 友輔さんにお越しいただき、夢への挑戦につながるお話を伺います。荒木さんもサッカーワールドカップという最高峰の舞台で主審を務めることを目指されています。